

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）普及への取り組み

我が国では「エネルギー基本計画」（2014年4月閣議決定）において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で、2030年までに新築住宅の平均で住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味（ネット）でゼロとなる住宅（以下、「ZEH」という）の実現を目指す」とする政策目標を設定しています。経済産業省資源エネルギー庁は、この目標の達成にむけたZEHロードマップの検討をおこない、そのとりまとめを2015年12月に公表しました。

株式会社 建築工房は、上記政策目標とその達成にむけたZEHロードマップに基づき、ZEHの自立的普及を目指して高断熱外皮、高性能設備と制御機構等を組み合わせ、新築または改築する建物に導入し、温室効果ガス排出量の削減に努めることで地球環境の保護へ貢献し、ひいてはお客様の未来を見据えたゼロエネルギーハウスづくりの実現に努めます。

ZEH 普及率目標

ZEH 普及率実績

平成 28 年度（2016 年）	30%	43%
平成 29 年度（2017 年）	30%	84%
平成 30 年度（2018 年）	30%	—
平成 31 年度（2019 年）	40%	—
平成 32 年度（2020 年）	60%	—

※新築住宅、既築住宅改修に対するZEH（Nearly ZEHを含む）が占める割合

具体的なZEH普及策

①ZEHの普及に向けた具体策

1. ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス支援事業補助金制度の活用
2. イベントなどで取り組みをPRし、性能や効果の普及活動を行う

②ZEHのコストダウンに向けた具体策

1. ZEH仕様の標準化を目指すことで効率化を図り、協力業者とともにコストダウンに努める
2. 基本設計段階で、敷地条件をもとに日射・通風の効果的な利用計画を行い、パッシブデザインを取り入れることで機器だけに頼ることなくコストダウンの効率化を図る

③その他の取り組み

1. ZEH関連の省エネ対策勉強会への積極的な参加にて社員のスキルアップに努める